【土木構造・材料論文集 第４０号】

土木構造・材料論文集投稿要領

１．　内 容

 (1) 土木工学全般、主としては構造・材料工学に関する調査・研究・開発について執筆したもので、理論的なものよりむしろ技術的・工学的に有益で実用性の高いものを歓迎する。できれば官界・業界・学界共同のものが望ましい。

 (2) 論文集には、投稿原稿の「論文・報告」「資料・解説」「外国語論文抄訳」の他、依頼原稿の「招待論文」「技術展望」「講演論文」等も掲載する。

(3) 投稿原稿は未発表であること、また、他学協会誌等（外国雑誌等も含む）へ二重に投稿していないことを原則とする。

(4) なお、既発表の「論文・報告」であっても、内容を追加したり、いくつかの論文を統合する、等して再構成したもの、あるいは外国語論文を和訳したものでもよい。ただし、外国語論文に関しては、それが既に発行されている場合でも「論文・報告」（査読有）として受け付ける。また、「外国語論文抄訳」（査読なし）の場合も既発表論文でも受け付ける。

(5) 個々の「論文・報告」が上記(3)(4)に抵触あるいは該当するかの判断は編集委員会で行う。この判断を容易にし、また正確を期すため、投稿にあたって、既発表の内容を含む場合、あるいは関連した内容の場合には、投稿申込票の所定欄に「過去の発表の経緯」を記載するとともに、論文の脚注にもその旨を明記すること。なお、外国語論文抄訳の場合には別刷等を必ず添付すること。

同じ著者が外国語論文を和訳して投稿された論文の取扱い

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 「論文・報告」 | 「外国語論文抄訳」 |
| 外国語論文は既発刊である場合 | ○ | ○ |
| 論文投稿中の場合 | × | × |
| 査　　読 | 査読あり | 査読なし |

２．　投 稿 資 格

 論文集への投稿原稿の第一著者は、(一社)九州橋梁・構造工学研究会会員（KABSE会員）もしくは(公社)土木学会会員であることとする。投稿申込み時に(一社)九州橋梁・構造工学研究会（KABSE）に入会申込みをする場合も、会員として認める。

３．　投 稿 区 分

 投稿原稿の区分は、その内容に応じて次の3種類とする。

(1)「論文・報告」 …… 調査・研究・開発の論文・報告

(2)「資料・解説」 …… 「論文・報告」には適さないが、有益な情報を提供するもの

(3)「外国語論文抄訳」 …… 外国語で発表・出版された有益な情報を抄訳したもの

４．　投稿申込方法、申込先および期限

(1) 投稿を希望する場合には、(一社)九州橋梁構造工学研究会（KABSE）のホームページから、土木構造・材料論文集「投稿申込票」をダウンロードのうえ、[Googleフォーム](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeISHI2tokEIttJog_mJx3D6-1u3SHWLwOHa1NVhe1mBy_9Ww/viewform)にて投稿申込期限までに申し込む。申込みを受付け次第、受領確認を返信する。「投稿要領」、「原稿の書き方」、「原稿作成例」および「KABSE論文作成テンプレート」は、(一社)九州橋梁構造工学研究会（KABSE）の下記ホームページからダウンロード可能。ダウンロードできない場合はその旨ご連絡下さい。

KABSEのホームページ：<http://www.kabse.com/>　（各種刊行物→土木構造・材料論文集をクリック）

(2) 投稿申込先 ･････････････････････････････････････････････････････････････････

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeISHI2tokEIttJog_mJx3D6-1u3SHWLwOHa1NVhe1mBy_9Ww/viewform>

(3) 投稿申込期限（期限厳守） ････････････････････････････････････････････････････････････････ ５月３１日

５．　原 稿 提 出 期 限 等

1. 査読用原稿の提出期限 ：本文（PDF）をGoogleフォーム（申込受付メールに記載）で送付 ････････６月３０日
2. 最終原稿の提出期限 ：本文（PDF）および概要（PDF）をGoogleフォームで送付 ･･･････････････１０月３１日
3. 発刊 ･･････････････････････････････････････････････････････････････････････････････････１２月（予定）

［注］　査読用原稿、最終原稿ともに提出時に原稿チェックシートで原稿の体裁を確認の上、チェックシートも送付すること。最終原稿は編集委員会では修正を加えず、そのまま収録されるので、論文体裁については全て著者の責任に帰するものとする。(掲載は第39号よりJ-STAGEへと移行されています)

６．　原 稿 の 書 き 方

 投稿にあたっては、「土木構造・材料論文集原稿の書き方」「原稿作成例」（(一社)九州橋梁構造工学研究会（KABSE）の上記ホームページからダウンロード可）を参照して下さい。

1. 投稿原稿はワープロでＡ４用紙に所定のレイアウトで執筆し、PDFファイルで提出する。
2. 論文集は著者からの最終提出原稿をそのまま発刊する。
3. 投稿原稿1編の目安は８ページ程度とし，上限を１０ページとする。

７．　査 読 手 続 き

1. 投稿された「論文・報告」「資料・解説」の原稿については、(一社)九州橋梁・構造工学研究会論文集編集小委員　会（以下、本委員会）で選考した査読者に査読を依頼する。本委員会では査読結果に基づき掲載を決定する。
2. 投稿された「外国語論文抄訳」の原稿については、本委員会または本委員会で選考した適任者がその内容を審査する。
3. 査読に当たって、本委員会は著者に対して問い合わせ、または内容の修正を求めることがある。
4. 査読結果に応じて、本委員会は投稿原稿の「論文・報告」と「資料・解説」の区分の変更を求めることがある。
5. 原稿に関する照会または修正依頼を行った後、所定期日以内に著者から回答や提出がない場合には、本委員会は査読を打ち切り、論文集への掲載を取りやめる。

８．　掲　載　料

 論文集への掲載料として以下に示す金額を、掲載確定時に納めること。なお、第一著者がKABSE会員の場合は15,000円、第一著者がKABSE非会員の場合は30,000円とする。

論文掲載料

|  |  |
| --- | --- |
| 第一著者がKABSE会員 | 第一著者がKABSE非会員 |
| 15,000円 | 30,000円 |

９．　別　刷

別刷は50部単位で実費にて申し受ける。別刷料金は8頁を基準として、概ね12,000円程度（税抜き）。

10．　著 作 権

 土木構造・材料論文集に掲載された個々の著作物の著作権は著者に属し、(一社)九州橋梁・構造工学研究会（以下、KABSE）は編集著作権をもつものとする。また、著者は、土木構造・材料論文集に掲載された個々の著作物について、著作権の行使をKABSEに委任することとする。ただし，著者自らがこれを行うことは妨げない。

11．　そ の 他

1. 投稿原稿の受付日は、査読用原稿提出期限の日付（2024.6.30 受付）とする。
2. その他の投稿に関する問い合わせは、下記の本委員会編集委員長までご照会下さい。

12．　問い合わせ先（投稿申込みや査読原稿のメール受付は行なっておりません）

 〒870-0397　大分市一木1727

 日本文理大学　工学部　建築学科　池見　洋明

 Phone : 097-524-2643

 E-mail : ikemihr@nbu.ac.jp